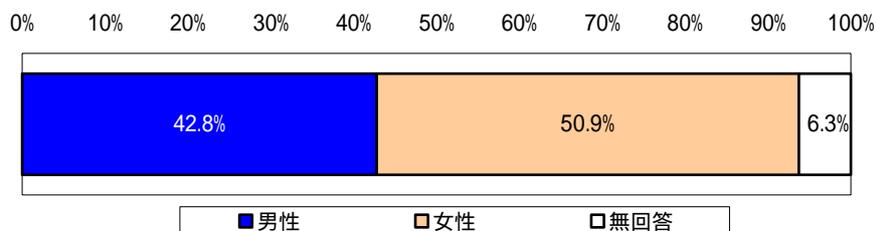


第3章 単純集計結果

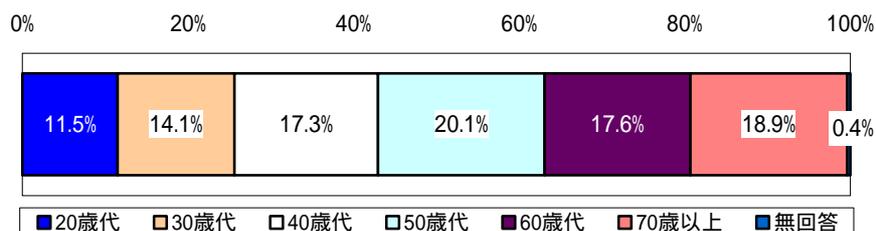
(1) 単純集計 問1 「回答者の性別」

回答者の性別は、「男性」42.8%、「女性」が50.9%であり、「女性」の回答率が「男性」を上回った。



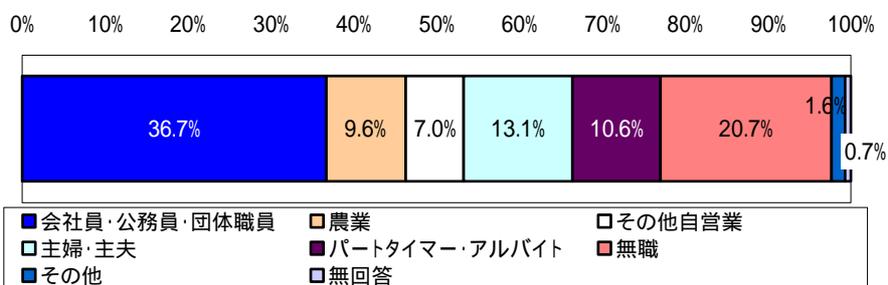
(2) 単純集計 問2 「回答者の年齢」

回答者の年齢は、「50歳代」が20.1%と最も高かった。次いで「70歳以上」が18.9%、「60歳代」が17.6%であり、50歳代以上が約6割を占めた。



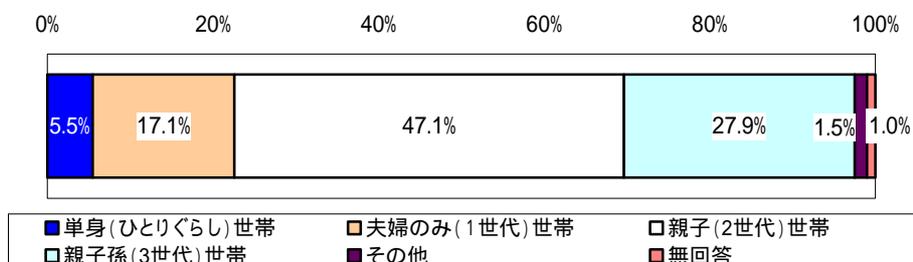
(3) 単純集計 問3 「回答者の職業」

回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員」が36.7%と最も高かった。次いで「無職」が20.7%、「主婦・主夫」が13.1%であった。



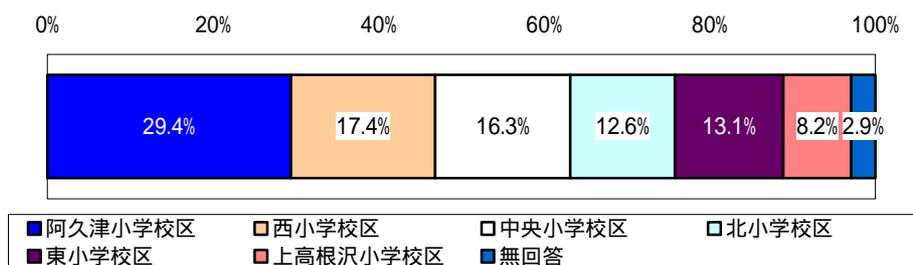
(4) 単純集計 問4 「回答者の家族構成」

回答者の家族構成は、「親子(2世代)世帯」が47.1%で最も高く、次いで「親子孫(3世代)世帯」が27.9%、「夫婦のみ(1世代)世帯」が17.1%であった。



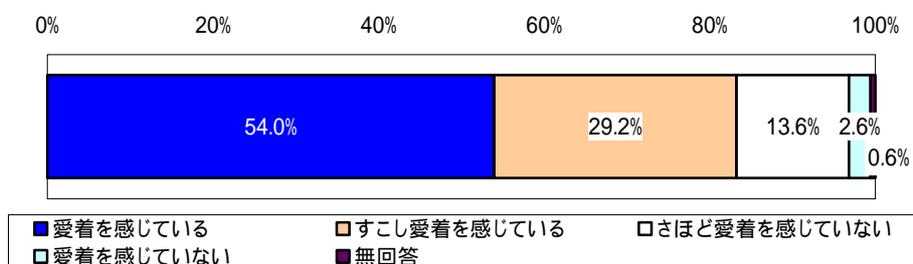
(5) 単純集計 問5 「回答者の居住地」

回答者の居住地は、「阿久津小学校区」が29.4%と最も高かった。次いで「西小学校区」が17.4%、「中央小学校区」が16.3%であった。



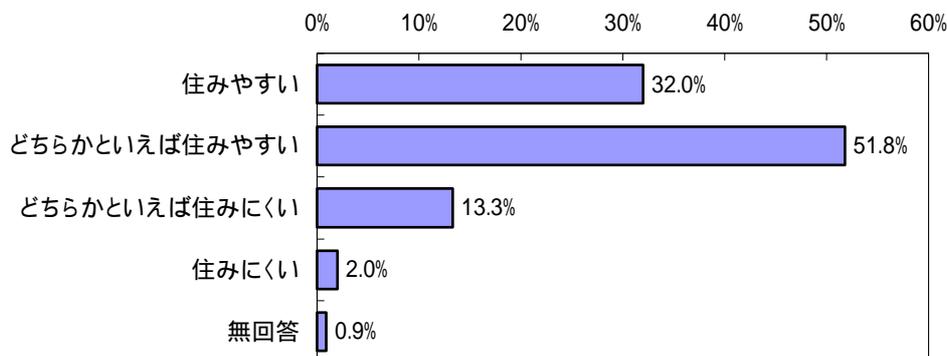
(6) 単純集計 問6 「高根沢町に対する愛着」

高根沢町に対する愛着を尋ねたところ、「愛着を感じている」が54.0%と最も高かった。次いで「すこし愛着を感じている」が29.2%、「さほど愛着を感じていない」が13.6%であった。回答者の約8割が自らのまちに愛着があることがうかがえた。



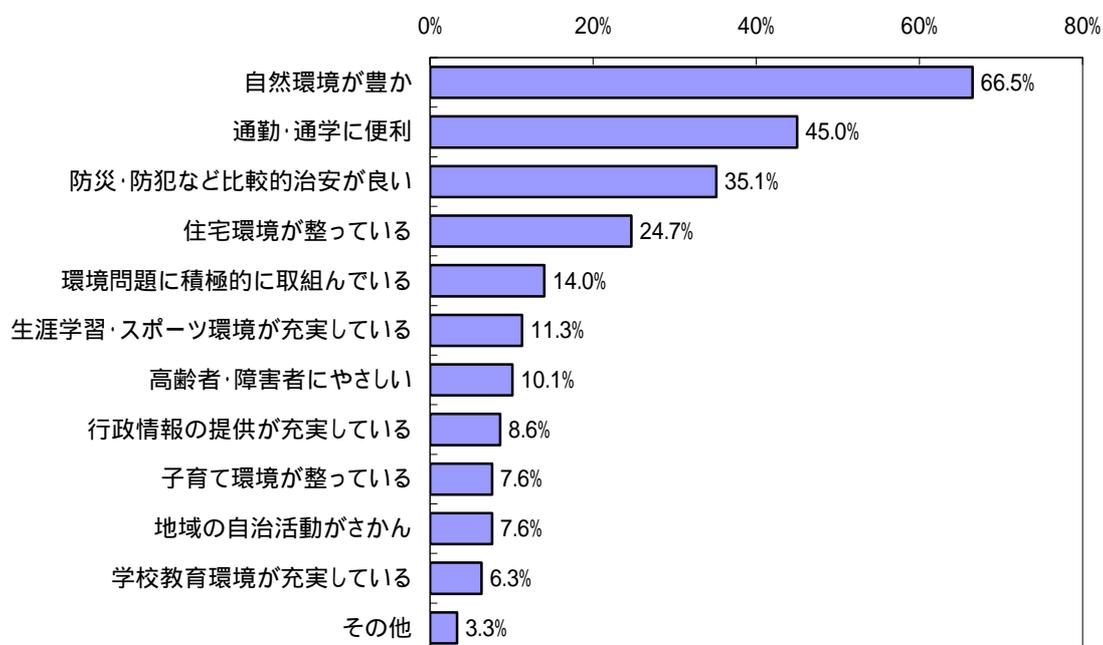
(7) 単純集計 問7「高根沢町の住み心地」

高根沢町に対する住み心地を尋ねたところ、「どちらかといえば住みやすい」が51.8%と最も高かった。次いで「住みやすい」が32.0%、「どちらかといえば住みにくい」が13.3%であった。高根沢町の住み心地に対して、肯定的な回答が約8割を占めた。



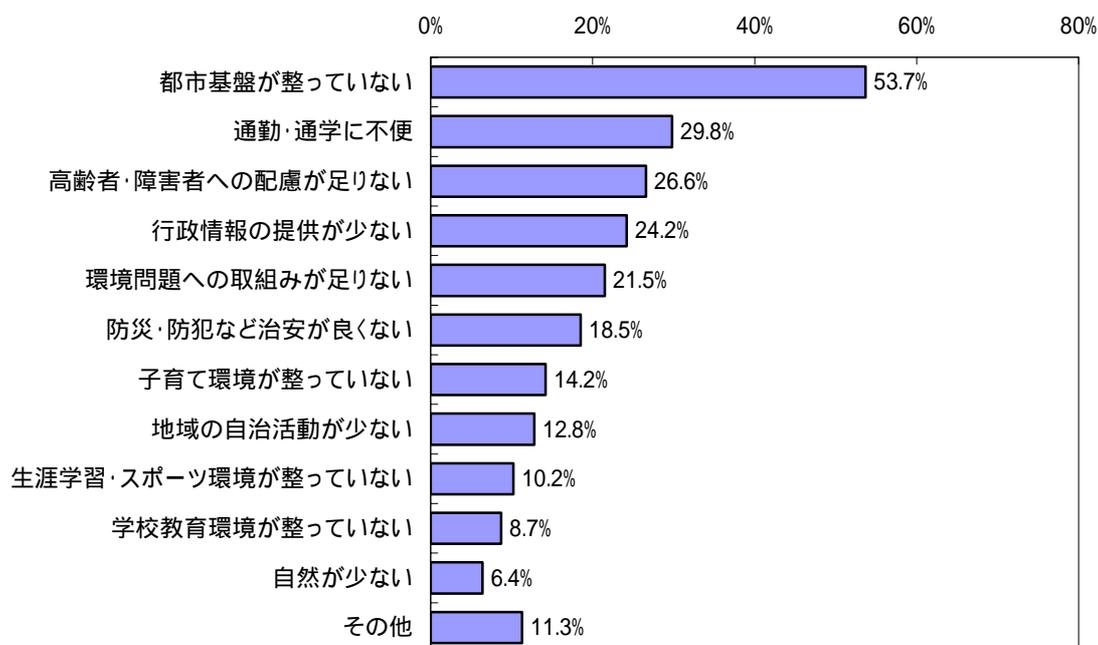
(8) 単純集計 問8「住み心地が良い点」(複数回答)

高根沢町に対する住み心地が良い点を尋ねたところ、「自然環境が豊か」が66.5%と最も高く、次いで「通勤・通学に便利」が45.0%、「防災・防犯など比較的治安が良い」が35.1%であった。



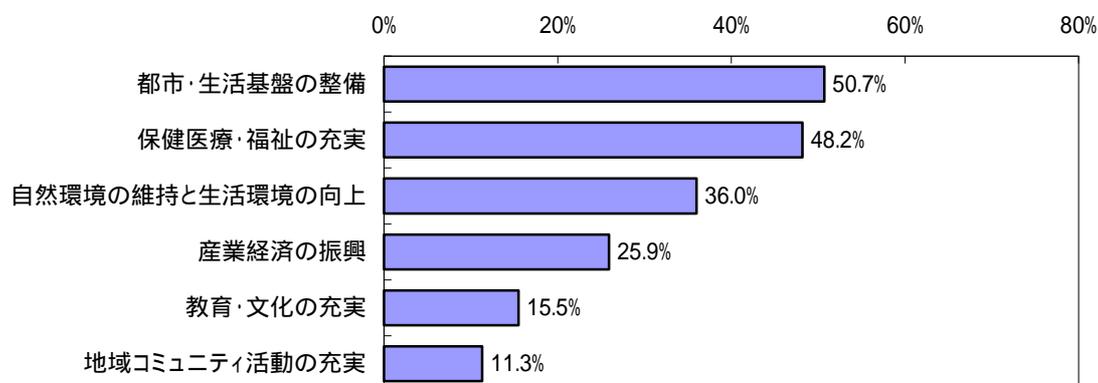
(9) 単純集計 問 9 「住み心地が悪い点」(複数回答)

高根沢町に対する住み心地が悪い点を尋ねたところ、「都市基盤が整っていない」が53.7%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便」が29.8%、「高齢者・障害者への配慮が足りない」が26.6%であった。問8では、住み心地が良い点として「通勤・通学に便利」が第2位回答を占めており、通勤・通学の利便性は、評価が分かれている。



(10) 単純集計 問 10 「今後優先すべき分野」(複数回答)

高根沢町が今後優先すべき分野を尋ねたところ、「都市・生活基盤の整備」が50.7%と最も高く、次いで「保健医療・福祉の充実」が48.2%、「自然環境の維持と生活環境の向上」が36.0%であった。



(1 1) 単純集計 問 1 1 「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」割合から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」割合を差し引いて「優先度」を求め、各施策の優先度合いを把握した。

都市・生活基盤の整備

1) 計画的な市街地整備

「1.計画的な市街地整備」に関する「優先」割合は64.6%、「非優先」割合は14.2%であり、「優先度」は50.4%であった。

2) 利便性の高い道路網の形成

「2.利便性の高い道路網の形成」に関する「優先」割合は59.0%、「非優先」割合は24.5%であり、「優先度」は34.5%であった。

3) 公共交通の充実

「3.公共交通の充実」に関する「優先」割合は54.3%、「非優先」割合は27.6%であり、「優先度」は26.7%であった。「都市・生活基盤の整備」分野で最も「優先度」が低かった。

4) 良質な水道水の供給

「4.良質な水道水の供給」に関する「優先」割合は69.6%、「非優先」割合は16.9%であり、「優先度」は52.7%であった。

5) 汚水処理の充実

「5.汚水処理の充実」に関する「優先」割合は78.7%、「非優先」割合は7.9%であり、「優先度」は70.8%であった。「都市・生活基盤の整備」分野で最も「優先度」が高かった。

自然環境の維持と生活環境の向上

6) 自然環境の保護

「6.自然環境の保護」に関する「優先」割合は68.3%、「非優先」割合は16.4%であり、「優先度」は51.9%であった。

7) リサイクルの推進

「7.リサイクルの推進」に関する「優先」割合は69.4%、「非優先」割合は14.8%であ

り、「優先度」は54.6%であった。

8) 公園・緑地の充実

「8.公園・緑地の充実」に関する「優先」割合は50.9%、「非優先」割合は32.3%であり、「優先度」は18.6%であった。「自然環境の維持と生活環境の向上」分野で最も「優先度」が低かった。

9) 防災機能の向上

「9.防災機能の向上」に関する「優先」割合は73.8%、「非優先」割合は10.3%であり、「優先度」は63.5%であった。

10) 防犯・交通安全対策の充実

「10.防犯・交通安全対策の充実」に関する「優先」割合は82.2%、「非優先」割合は5.3%であり、「優先度」は76.9%であった。「自然環境の維持と生活環境の向上」分野で最も「優先度」が高かった。

保健医療・福祉の充実

11) 健康づくりの推進

「11.健康づくりの推進」に関する「優先」割合は64.9%、「非優先」割合は19.4%であり、「優先度」は45.5%であった。「保健医療・福祉の充実」分野で最も「優先度」が低かった。

12) 高齢者福祉・介護支援の充実

「12.高齢者福祉・介護支援の充実」に関する「優先」割合は80.7%、「非優先」割合は8.2%であり、「優先度」は72.5%であった。「保健医療・福祉の充実」分野で最も「優先度」が高かった。

13) 障害者福祉の充実

「13.障害者福祉の充実」に関する「優先」割合は71.4%、「非優先」割合は10.2%であり、「優先度」は61.2%であった。

14) 子育て支援策の充実

「14.子育て支援策の充実」に関する「優先」割合は73.0%、「非優先」割合は9.5%であり、「優先度」は63.5%であった。

15) 社会保障・生活援護の充実

「15. 社会保障・生活援護の充実」に関する「優先」割合は68.6%、「非優先」割合は14.3%であり、「優先度」は54.3%であった。

教育・文化の充実

16) 学校教育・教育環境の充実

「16. 学校教育・教育環境の充実」に関する「優先」割合は76.1%、「非優先」割合は5.5%であり、「優先度」は70.6%であった。

17) 健全な青少年の育成

「17. 健全な青少年の育成」に関する「優先」割合は82.2%、「非優先」割合は5.8%であり、「優先度」は76.4%であった。「教育・文化の充実」分野で最も「優先度」が高かった。

18) 生涯学習の充実

「18. 生涯学習の充実」に関する「優先」割合は57.0%、「非優先」割合は23.1%であり、「優先度」は33.9%であった。

19) 文化・芸術活動の充実

「19. 文化・芸術活動の充実」に関する「優先」割合は45.2%、「非優先」割合は34.7%であり、「優先度」は10.5%であった。「教育・文化の充実」分野で最も「優先度」が低かった。

20) 生涯スポーツの充実

「20. 生涯スポーツの充実」に関する「優先」割合は46.5%、「非優先」割合は32.5%であり、「優先度」は14.0%であった。

産業経済の振興

21) 農林業振興

「21. 農林業振興」に関する「優先」割合は50.1%、「非優先」割合は23.8%であり、「優先度」は26.3%であった。

22) 工業振興

「22. 工業振興」に関する「優先」割合は50.3%、「非優先」割合は24.4%であり、「優先度」は25.9%であった。

23) 商業振興

「23.商業振興」に関する「優先」割合は58.1%、「非優先」割合は17.2%であり、「優先度」は40.9%であった。

24) 観光振興

「24.観光振興」に関する「優先」割合は40.2%、「非優先」割合は34.7%であり、「優先度」は5.5%であった。「産業経済の振興」分野で最も「優先度」が低かった。

25) 雇用機会の提供

「25.雇用機会の提供」に関する「優先」割合は66.0%、「非優先」割合は12.7%であり、「優先度」は53.3%であった。「産業経済の振興」分野で最も「優先度」が高かった。

地域コミュニティ活動の充実

26) 地域コミュニティの活性化

「26.地域コミュニティの活性化」に関する「優先」割合は51.4%、「非優先」割合は26.7%であり、「優先度」は24.7%であった。

27) 地域自治活動への参加促進

「27.地域自治活動への参加促進」に関する「優先」割合は40.9%、「非優先」割合は35.5%であり、「優先度」は5.4%であった。

28) 男女共同参画の推進

「28.男女共同参画の推進」に関する「優先」割合は39.4%、「非優先」割合は34.7%であり、「優先度」は4.7%であった。「地域コミュニティ活動の充実」分野で最も「優先度」が低かった。

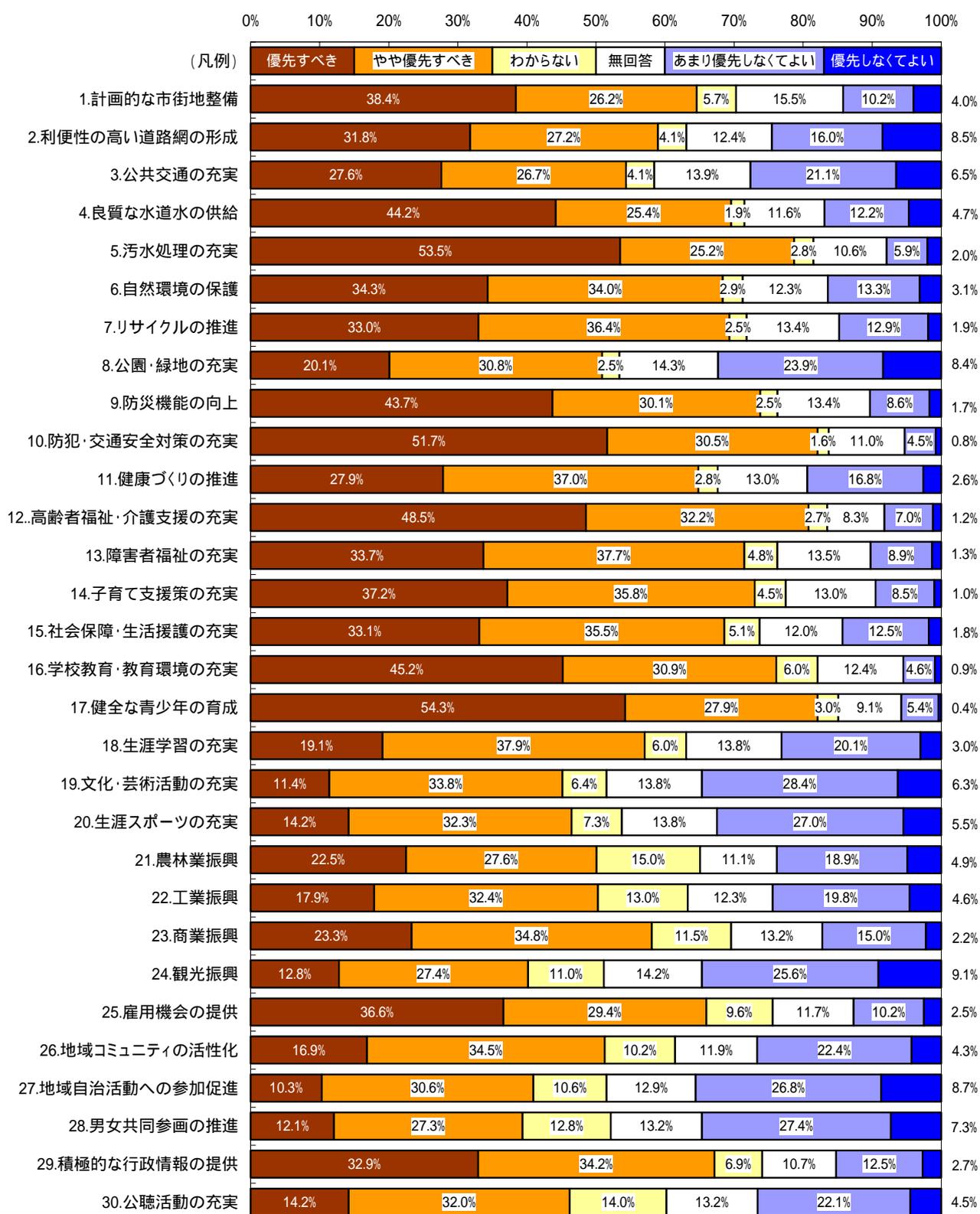
29) 積極的な行政情報の提供

「29.積極的な行政情報の提供」に関する「優先」割合は67.1%、「非優先」割合は15.2%であり、「優先度」は51.9%であった。「地域コミュニティ活動の充実」分野で最も「優先度」が高かった。

30) 公聴活動の充実

「30.公聴活動の充実」に関する「優先」割合は46.2%、「非優先」割合は26.6%であり、「優先度」は19.6%であった。

施策の優先度



(1 2) 単純集計 問 1 2 自由回答

自由回答の内容を整理すると、「道路に関する意見」「合併に関する意見」「防犯や交通安全に関する意見」「下水道に関する意見」「市街地整備に関する意見」「高齢者福祉に関する意見」「公共交通に関する意見」「ごみ・リサイクルに関する意見」「商業に関する意見」「自然環境に関する意見」などが多数寄せられた。意見の事例は、次のとおりである。

道路に関する意見

高根沢は場所によって道が狭く、道路整備の不備が見受けられます。(特に住宅地)これから改善が必要ではないでしょうか。
自転車を乗りたくても道路が狭く、歩道が荒れているため、乗らない人が多く見受けられます。私も自転車で通勤していますが、道が狭く車も車速を下げないのでとても危険です。子供の通学を見ているだけでも危なくて心配。どうか歩道の充実した町づくりをお願いします。
現在の町全体の道路状況はあまりにひどく道幅も狭く歩道もなく、子供や高齢者、障害を持ってられる方などが安全、安心に生活が出来ないと思います。他町村において、町中心部がこの様な状況の所はあまりないように思います。自分自身がもし、年を取って身体の一部が不自由になった時を考えるととても不安です。

合併に関する意見

合併協議の選挙を行い、宇都宮市との合併を望む住民の投票が多かった。しかし、選挙後の宇都宮市との合併進行状況について、住民に全く知らされておらず、選挙の意味がなかったのではないかと。宇都宮市との合併進行状況について、住民に知らせたい。
これからのまちづくりに関する意見についてこれまで、市町合併を優先してきたが、どうなったのか。そもそも、合併して何のメリットがあると考えたのか。職員費を含めて何千万円を使ったのか。その分を施策・事業の充実に充てるべきだったと考えると、腹立たしい限りである。
市町村合併は、この先どうなっていくのでしょうか。2～3年ぐらいのうちには、どこかといっしょにならないと、やっていけなくなるようになるのでは、という気がしています。議員の方や他の権力関係は考えずに、生き残れる方策を考えて下さい。

防犯や交通安全に関する意見

高根沢町に警察署を設置して欲しい。人口も3万人を超え、宝積寺台地での人口増が進展していくことが必至です。人口増に比例して犯罪が多くなることは明らかであり、更なる防犯強化が肝要となります。防犯強化の基本は、地元警察署を中心とした地域ぐるみの取組が最重要課題と考えています。
世の中が今とても物騒になり、予測できない事件がたくさんおこっています。子供たち、町民が安心して住んでいける町づくりをしていきたいです。家などが少ない道には、街灯をつけて町を明るく照らせば、防犯に役立つと思います。
東町北区の道路は、道幅がせまいわりには車の数が多いので、なんとかして欲しい。道路標識や速度規制がドライバーに分かるようにして欲しい。事故が起きる前に早急な対策をして下さい。

下水道に関する意見

下水道工事が始まっているのですが、一日も早く全軒の家が使用出来ますようお願い致します。

宇都宮市では下水が通っていない地区で2世帯以上の希望があれば申請により予算化され2年以内に本管が布設される。今住んでいる石末では、側溝さえなく水があふれてしまうので浴槽の湯はポンプで汲み上げ花木へ有効利用し、洗濯はコインランドリーを利用している。それでもキッチン、洗面所、バスシャワーを使うとあふれ出す始末。近々上下水道が整備されている宇都宮市内へ引越ししたいと考えている。

現在、下水道工事を行っているが、全部の世帯が恩恵を受けられるのか。町の広報などで説明してほしい。

市街地整備に関する意見

旧市街地の下水道と区画整理を推進してほしい。

宝積寺市街地地域の整備を早期に図るべき。車道と歩道の区分が不明瞭であり、通学者（歩行者・自転車等）と車が危険な状況にあると思う（通学道の徹底も必要）。特に障害者には全く対応できないと思う。下水道整備のおくれによる河川の汚濁、地下水汚染も心配である。市街地が台地に形成されているので、火災等の防災対策に不安を感じる。

市街化調整区域が多く、サマリーマンが住める場所が無さすぎる。土地の値段が、その為に高目であり、住みにくい。

高齢者福祉に関する意見

高根沢町は他の市町村に比べると福祉分野が充実していないと思います。高齢者も障害のある人も安心して暮らせるように町ぐるみで推進して欲しいと願います。

高齢化が加速している中、町としての施設不足による受入れ体制のおくれが目立っている。今後ますますこの傾向は進んでくると思う。早い対応が求められていると思います。

高齢になった時に、住みやすく生活しやすい町にして欲しい。私が住んでいる所では資源ゴミ等は公民館まで持って行きます。今はまだ車の運転が出来ますから持って行く事が出来ますが10年後、20年後を考えると不安です。

公共交通に関する意見

高齢化社会に対応するため、町内主要施設への巡回バスサービスを検討して欲しい。例えば、宝積寺駅 宝積寺郵便局 役場 元気あっぷむら 各病院 各スーパーを一日に何回か巡回する。運転手はバス会社退職者等を採用し人件費の抑制を図る。バスも中古車をバス会社より購入。

公共機関の充実を検討して欲しい。JR以外の交通手段がほとんどなく、バスも本数が少なすぎます。マイクロバスなどの採用などにより、町内循環バス（みやバスなどの様に）走行などを行って頂けると助かります。

自家用車の増加によりバス利用者が減り、東野バス2本が廃止され不便を感じております。町民広場やその他公共施設に催物があっても足がなく、行くことが出来ません。せっかく念願の眼科が出来てもタクシーを利用しなければなりません。町内を巡る町営のバスがあればどんなにか助かります。老人にやさしいまちづくりをお願いいたします

ごみ・リサイクルに関する意見

ごみ集荷の回数を増やして欲しい。ペットボトル、缶、古紙などが月1回なのはひどい。その日をのがしてしまうと、2ヶ月分、3ヶ月分のゴミがたまってしまう。宇都宮市が週一と聞くので、これだけを考えても高根沢町から転出したいという気持ちです。

栃木へ来て（居住して）ゴミ分別の低さにおどろきました。現在もカン・ガラス類や燃えるゴミなどは、資源活用されているのでしょうか。焼却処理の安全性についても心配です。

ビニールゴミの回収を呼びかけ、家庭では焼却させないようにして、きれいな空気を保って欲しい。外へ出て深呼吸をすると、むせてしまうことがある。

商業に関する意見

高根沢町の顔である宝積寺駅前を魅力ある広場に商店街にして欲しい。生活に必要な物・食品を顔の見えるお店で買いたいと思う（対話をしながら）から、町としても商工会をバックアップして活気ある駅前にして欲しい。

高根沢町としての特産物を作るべきではと思う。町の商業・工業・農業の各分野での産物は作っているが、“これ”という特徴のある産物を、各分野で一つ二つを定めて、町内や県内へPRしていけたらと思います。

大型商業施設をつくって欲しい。買物に宇都宮市までいっているが高根沢町で済ませたい。ファーストフード店もつくって欲しい。

自然環境に関する意見

私は「今の高根沢町」が好きです。緑もたくさんあって、田んぼもたくさんあって、水もおいしいと県外の人などから言われる事があります。お米もおいしいです。この自然を残しながら住みよい町をつくりたいと思います。

特色ある町づくりの課題は、美しい自然環境を大切に、文化芸術面の施策を充実して、教養豊かな人材を育てることだと思います。

最近川の汚れがひどく、川底には錆びた飲料水の缶等が沈み、昔の清流が失われている。川底の清掃を実施し、昔の様な清流を取り戻して欲しい。飲料水の缶を中止し紙に替える事により缶の散乱が無くなると思う。是非実施の方向で検討をお願いします